

別紙 1

1 環境保全活動に関する方針等

<環境保全活動に関する方針等>

【環境方針】
[環境理念]

私たちは、おいしさと品質と安全にこだわり安心できる食品づくりに努めるとともに、地球環境の大切さを十分認識し、環境に配慮した企業活動を通して恵み豊かな地球の存続に貢献します。

[行動指針]

1. 事業活動全般（調達・生産・物流・販売）について、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減・再資源化及び地球温暖化物質等の排出抑制に努め、汚染の予防を推進します。
2. 原料調達から消費に至るまで、各段階で環境に配慮した商品開発に努めます。
3. 環境に関わる法律を遵守するとともに、自主基準を設定し事業活動を行います。
4. 環境目的・目標を定め定期的に見直すことにより、環境活動の継続的改善を図ります。
5. 環境教育を通して環境意識の向上を図り、社員全員が環境活動に積極的に取り組みます。
6. 社内外に必要な環境情報を公開します。（ホームページに掲載）

（目標・計画等の公表の方法についても記載のこと。）

2 推進体制の整備

<環境保全活動に関する組織体制>

部署名	担当内容
管理本部 総務部 環境推進グループ	環境関連窓口
管理本部 S C M部 需給グループ	特定荷主の責任
研究・生産本部 生産部 業務グループ	省エネ法管理
研究・生産本部 生産部 工務グループ	環境測定および届出

別紙 2

3 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画 (2013年度計画)
1. 原油換算エネルギー量 原単位 2009年度から 年平均1%削減する。(各 製造グループ)	・飲料グループは生産の効率化等により2009年 度比4.0%削減で目標を達成。(2012年度は 3.0%削減が基準) ・粉体グループも生産の効率化等により2009年 度比3.3%削減で目標を達成。(2012年度は 3.0%削減が基準)	1. 原油換算エネル ギー量原単位 20 09年度から年平 均1%削減する。
2. エネルギー総量を2 009年度から年平均 1%削減する。(製造グ ループを除く全部署)	ノ一残業デー月2回以上実施、空調機の温度設 定厳守、昼間の消灯、蛍光灯の間引き等の省エ ネ活動を実施。 伊丹地区全体の原油に換算したエネルギー量 は、2009年度比95%で目標を達成した。製造G を除く全部署でも2009年度比90%で目標を達 成した。	2. エネルギー総量 を2009年度か ら年平均1%削減 する。
3. 輸送方法の効率化の推 進。 ガソリン、LPGを2011年 度に対して使用量を年平 均1%削減、ガソリン燃費 を1%改善する。	・エコドライブ及び使用を極力減らす取り組みを 実施。 ・ガソリン使用量は2011年度比3%削減した。 ・LPGは使用しているフォークリフトの電気化の 影響があり、2011年度比20%削減した。当社 のフォークリフトは全て電気化が完了したこと に伴い、2013年度のLPG使用量削減目標は削 除する。	3. 輸送方法の効率 化の推進。 ガソリンを2011年 度に対して使用量を年 平均2%削減、燃費 を2%改善する。
4. 廃棄物排出量を201 1年度より5%削減する。 (製品廃棄を含む)	・廃棄物量は、2011年度比13%削減し、目標を 達成した。 ・2013年度は市場及び気候等に左右される製品 廃棄を除く目標を設定し、外的要因に左右されな いところに重点をおいて取り組んでいく。	4. 廃棄物排出量を 2011年度より 26%削減する。 (製品廃棄を除く)
5. 廃棄物の再資源化率9 8%以上を維持する。	・再資源化率は98.4%で目標を達成した。 ・排水汚泥を再資源化できるようになったことが、 再資源化率に貢献した。	5. 廃棄物の再資源 化率98%以上を維 持する。
6. 排水時に飲料を流さな いなど水質汚濁防止活動、 排水規制値遵守。	・汚濁防止への継続的な取組み、適切な希釈実 施および排水処理設備の本格導入が(COD値 について、昨年度に比べて53-40mg/Lの)負荷 低減に繋がった。またBOD値等の規制値を超え ることは無かった。 (下水道の排水規制値、自主規制値ともに適合)	6. 排水時に飲料を 流さないなど水質 汚濁防止活動、排水 規制値遵守。

<p>7. 環境配慮型の包装資材を積極的に検討し、既存製品の改良及び新製品開発検討を実施する。</p>	<p>・一部商品の容器の軽量化、ラベルの薄膜化、段ボールケース材質低減等を実施。</p>	<p>7. 環境配慮型の包装資材を積極的に検討し、既存製品の改良及び新製品開発検討を実施する。</p>
<p>8. 紙使用量の削減、コピー用紙の再生紙使用率の維持・向上。</p>	<p>・紙使用量は、新商品導入増等の増加要因があったが、日々の削減の努力により2011年度比101%と微増で抑えた。 ・コピー用紙の再生紙使用率は99.9%で高い使用率を維持できた。</p>	<p>8. 紙使用量の削減、コピー用紙の再生紙使用率の維持・向上。</p>
<p>9. 環境マネジメントシステム運用及び継続的改善</p>	<p>・環境マネジメントシステムの年間を通じた運用。 ・活動計画(P)、実行(D)、評価(C)、改善(A)による継続的改善の推進。</p>	<p>9. 環境マネジメントシステム運用及び継続的改善</p>
<p>10. 環境に関する教育を実施。</p>	<p>・DVD鑑賞による廃棄物及びリサイクル教育を実施。(9月・10月) ・各グループ単位の環境教育(年度計画)の実施。 (内部環境監査にて教育状況を確認。)</p>	<p>10. 環境に関する教育を実施。 ・社内一斉教育 ・部署毎の教育</p>
<p>11. 地域社会活動への参加</p>	<p>・事業場周辺の清掃活動を実施。(週1回) ・全社員による事業場周辺の清掃活動を実施。(年2回5月、12月)</p>	<p>・事業場周辺の清掃活動。 ・全社員による事業場周辺の清掃活動(年2回実施)。</p>